

提出 2008年 8月 22日

会合議事録

研究会名： スピン・電子運動量密度研究会

日時： 2008年 7月 28日 13:30~17:00

場所： SPring-8 中央管理棟 3F TV会議室

出席者：(議事録記載者に下線)

櫻井 浩 (群馬大)、西野啓之 (群馬大)、辻 成希 (群馬大)、久保康則 (日大文理)、

水崎壮一郎 (青学大)、松田和博 (京大)、梶原行夫 (広島大)、石松直樹 (広島大)、

小林寿夫 (兵庫県大)、池田修悟 (兵庫県大)、小泉昭久 (兵庫県大)、安居院あかね (JAEA)、水牧仁一朗 (JASRI)、伊藤真義 (JASRI)、櫻井吉晴 (JASRI)

計 15名

議題： (1) 研究紹介

(2) BL08W の改造について

(3) 研究会活動としての外部資金獲得について

(4) PU 公募について

(5) コンプトン・コミュニティーのプレゼンス

議事内容：

(1) BL08W において実施された、或いは、計画されている研究について紹介すると共に、10周年記念出版についての情報交換を行なった。以下に発表タイトルを記す。

- ・ 「DV-X α 法を利用した高分子コンプトンプロファイルの計算」 櫻井 浩 (群馬大)
- ・ 「磁気コンプトン散乱を用いた YTiO₃の軌道整列の研究」 辻 成希 (群馬大)
- ・ 「コンプトンプロファイルの優位性とは何か」 久保康則 (日大・文理)
- ・ 「Ir 酸化物の磁性の磁気コンプトン散乱による研究」 水崎壮一郎 (青学大)
- ・ 「ラーベス相 ErCo₂の高圧下 MCP 測定」 石松直樹 (広島大)
- ・ 「コンプトン散乱と BL08W の第2期10年間 (2008-2017) SPring8 II

と KEK-ERL

への準備」 櫻井吉晴 (JASRI)

- ・ 「コンプトン散乱実験の高度化と新しい研究分野の開拓・施設への提言
— 10周年記念出版にあたって —」 小泉昭久 (兵庫県大)

(2) BL08W の改造について BL 担当者より報告された。

今夏の改造で、A ハッチでは、モノクロメータの交換により Si (406) : 110~160keV、Si (620) : 170~250keV、Si (771) : 270~300keV のエネルギー領域において磁気コンプトン散乱 及び 高分解能コンプトン散乱の実験が可能となる。一方、B ハッチは、モノクロメータの変更は無いため、従来のエネルギー領域における測定が可能であり、また、R&D 実験等にも利用できる。

(3) 研究会活動としての外部資金獲得について

本研究会のメンバーは、BL08W において (磁気) コンプトン散乱測定を利用した研究を行っているが、試料 (固体、液体、気体) や実験環境 (温度、磁場、圧力等) に関して制約が少ないため、研究テーマが多方面に渡っている。そのため、外部資金の獲得にあたり、共通の研究テーマを立てることは難しい。当面は、各メンバー 或いは 共通の目的をもったメンバーによる小グループで外部資金の獲得を目指すことにした。

(4) PU 公募について

現在 BL08W で実施されているパワーユーザー課題が終了するため、次回のパワーユーザー課題募集にあたり、応募の検討・準備をする旨、アナウンスした。

(5) コンプトン・コミュニティーのプレゼンス

研究会メンバーの研究テーマは多方面に渡っているため、学会発表等についても、各自の所属学会・研究会、関連分野で行なわれている。放射光分野におけるコンプトン・コミュニティーの存在感を示すためにも、今後、積極的に放射光学会での発表を行なうよう努めることを確認した。